

問1 1868年に五箇条の御誓文を神に誓う形式で発表した当時の天皇は誰？

1. 明治天皇 2. 孝明天皇 3. 徳川慶喜 4. 松平容保

問2 明治天皇が神に誓う形式で「五箇条の御誓文」を発表した年は何年？

1. 1868年 2. 1869年 3. 1871年 4. 1867年

問3 明治政府が国民から兵士を確保するために発布した、満20歳以上の男子に兵役の義務を課した法令を何という？

1. 地租改正 2. 徴兵令 3. 学制 4. 秩禄処分

問4 1871年、明治政府が近代制度を学ぶために欧米へ派遣した使節団を何という？

1. 岩倉使節団 2. 遣唐使 3. 遣明船 4. 天正遣欧使節

問5 明治天皇が神々に誓う形で示し、政治の基本方針とした文書を何という？

1. 大日本帝国憲法 2. 政体書 3. 五箇条の御誓文 4. 五榜の掲示

問6 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度を発布した年はいつ？

1. 1874 2. 1873 3. 1872 4. 1871

問7 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ることを宣言した出来事を何という？

1. 王政復古の号令 2. 五箇条の御誓文 3. 大政奉還 4. 廃藩置県

問8 「天は人の上に人を造らず」という一節で始まる、福沢諭吉が執筆した啓蒙書を何という？

1. 福翁自伝 2. 明六雑誌 3. 西洋事情 4. 学問のすゝめ

問9 戊辰戦争の舞台となった、北海道にある都市の名前は？

1. 横浜 2. 長崎 3. 新潟 4. 函館

問10 地租改正において、地租（税金）を決定する際の基準とされた土地の価格を何という？

1. 納税額 2. 収穫量 3. 地価 4. 地租率

問11 地租改正などの重い税負担に苦しむ農民が、明治政府に対して起こした抵抗運動を何という？

1. 革命 2. 一揆 3. 政変 4. 内乱

問12 欧米諸国に並ぶ国力を養うために明治政府が掲げた、国力を高める政策の合言葉を何という？

1. 富国強兵 2. 廃藩置県 3. 文明開化 4. 殖産興業

問13 明治政府が国力を高め、軍事力を強化して列強に並ぼうとした国家方針を何という？

1. 富国強兵 2. 殖産興業 3. 文明開化 4. 和魂洋才

問14 地租改正の際、土地の所有者に発行され、所有権を証明するために使われた書類を何という？

1. 秩禄処分 2. 地券 3. 徴兵令 4. 学制

問15 幕末から明治時代にかけて、『学問のすゝめ』を著して欧米の近代思想を日本に紹介した啓蒙思想家は誰？

1. 渋沢栄一 2. 津田梅子 3. 福沢諭吉 4. 新渡戸稲造

問16 大政奉還の直後、天皇を中心とする新政府の樹立を宣言した命令を何という？

1. 王政復古の号令 2. 五箇条の御誓文 3. 廃藩置県 4. 大政奉還

答え合わせ・解説

問1	答え 1 明治天皇	明治天皇は、江戸時代から明治時代への転換期において、新しい近代国家の象徴として位置づけられました。1868年、新政府が掲げた「五箇条の御誓文」を神前で読み上げ、全国に新しい国づくりの方針を広く示しました。
問2	答え 1 1868年	1868年、明治天皇が神々に誓う形式で「五箇条の御誓文」が発表されました。ここでは、身分を問わず広く会議を興すこと、知識を世界に求めることなど、新しい近代国家の目指すべき姿勢が示されています。
問3	答え 2 徴兵令	1873年に出されたこの法令により、満20歳以上の男子は兵役の義務を負うことになりました。これにより、武士だけが戦う時代は終わり、国民皆兵の体制が整えられました。
問4	答え 1 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を全権大使とし、大久保利通や伊藤博文らが参加しました。一行はアメリカを経てヨーロッパ各国を回り、工場や議会、教育制度などを視察しました。日本が近代化するために必要な多くの知識を持ち帰りました。
問5	答え 3 五箇条の御誓文	1868年に発表された「五箇条の御誓文」は、新しい国家建設の理念を明文化したものです。「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節は、広く意見を募り、合議によって政治を決定するという民主的な方向性を示した画期的な内容でした。
問6	答え 3 1872	1872年、政府は全国的な学校制度である「学制」を発布しました。この制度により、身分に関わらずすべての子供が教育を受ける機会を得ることを目指しました。
問7	答え 1 王政復古の大号令	1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川將軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。
問8	答え 4 学問のすゝめ	『学問のすゝめ』は、福沢諭吉が人々に平等と学問の重要性を説くために著した書物です。「天は人の上に人を造らず」という言葉で有名で、人間は生まれながらに平等であり、自らの知性を磨くことで独立した個人となるべきだと説きました。
問9	答え 4 函館	
問10	答え 3 地価	明治6年（1873年）の地租改正により、土地の生産性を評価して地価が決定されました。この地価を基に、土地の所有者が地価の3%を現金で納税する仕組みが確立されました。これにより、豊作・凶作に関わらず政府は一定の収入を確保できるようになりました。
問11	答え 2 一揆	この重い負担に抗議して、全国各地で大規模な一揆が起こりました。政府は、これら社会的な動揺を抑えるために、1877年に地租の税率を3%から2.5%に引き下げる措置をとりました。
問12	答え 1 富国強兵	明治政府は「富国強兵」を国家の基本政策に掲げました。経済面では殖産興業を進めて資本主義の土台を作り、軍事面では徴兵令などを通じて近代的な軍隊を創設しました。
問13	答え 1 富国強兵	経済発展を目指す「殖産興業」と、強力な軍隊を育成する「富国強兵」をセットで推進しました。これにより、鉄道の整備、官営工場の設立、徴兵制の施行など、多角的な近代化策が実行されました。
問14	答え 2 地券	1873年の地租改正で、政府は土地所有者に地券を交付しました。これに基づき、地価の3%を現金で納税する仕組みとなりました。この制度は、税収を予測可能にする画期的なものでした。
問15	答え 3 福沢諭吉	福沢諭吉は幕府の使節団として欧米を視察し、そこで学んだ近代的な考え方を日本に広めました。代表作『学問のすゝめ』では、身分にとらわれず、実学を学ぶことの重要性を説いています。また、慶應義塾を創設し、数多くの人材を育成しました。
問16	答え 1 王政復古の大号令	1867年12月、薩長などの倒幕派が天皇の権威を背景に発したのが「王政復古の大号令」です。これにより、將軍職の廃止と天皇中心の新政府の樹立が宣言され、徳川家による支配が完全に終わりました。